			冊	函	號
富岡先生(脚本一)	國木田獨歩著 眞山青果脚色 (「酒中日記」ト合綴)	大正一五	一	五五〇	五一
富岡町志	田所眉東、天羽呑鯨編	大正一四	一	五三四	六四
富岡鐵齋	本田成之	大正一五	一	五四〇	二一〇
富岡戀山開	並木五瓶 (文藝叢書第九册演劇脚本集ノ内)	大正三		三四五	一と
登美草	京都高榮會意匠部編	大正四	特 一〇	四一〇	四一
富宮笥	(國書刊行會本德川文藝類聚第一事實小說ノ内 大正三)			三三〇	四九ろ
富籤の經濟的及社會政策的利用を論ず	佐田弘治郎	大正五	一	三三九	八〇六
富田碎花詩集	富田碎花 (現代詩選第三)	大正一〇	一	三八九	五一
富田村誌	同村教員組合會編	大正五	一	三四八	三四七
富と教育	高山直通	大正一四	一	二五三	三〇六
富と發展	平瀨龍吉	明治四五	一	三三三	二七三
富之礎	安田善次郎	大正六	一	三三三	六三イ
富の今治	一名 越智郡案内	長谷川義一編	大正四	一	二一
富の北九州	田中一二編	大正五		一	三三九
富の形成と分配	チュルゴー著	大正一三 原田光三郎譯		一	五三三
富の研究	ジェ・ヱ・ホブソン著	福田秀一譯	大正一一	一	五〇二
富の創造	ジェームス・ハリー・ロックウッド著 (大日本文明協會譯 大正六 大日本文明協會刊行書第四期第二三卷)			一	三五五
富の成功講義	前期 富の成功社編	大正七		一	三六一
富の函館	一名 函館案内	桑原賢午、小野榮藏編	大正元	一	三三二

			冊	函	號
富の分配	タウシッグ著 (經濟學原理第五編)	長谷部文雄譯	大正三	一	五二
富札買樣秘傳	荒井白我	(安永三年序)		一	一九七
土民一揆と農民一揆	佐野學 (社會思潮十講ノ内)		大正一一	一	一三三
トム・ソウヤー物語	マーク・トウェーン著 佐々木邦譯 (大正一四 「題簽等ニハ「トム、ソウヤー冒險」トアリ」)			一	五四〇
トム・ソウヤー物語	マーク・トウェーン著 佐々木邦譯 (大正八 世界少年文學名作集第一卷)			一	三七五
トム・ブラウンの學校時代	トマス・ヒウズ著 時野谷貞譯 (新譯世界教育名著叢書第七卷ノ内)		大正一四	一	三九五五
トムブラグビー在校記	トマス・ヒューズ著 橘永生譯	大正元		一	三三八
弔合戰	田所成恭	大正一〇		一	三九四
友	(ツセ著 茅野蕭々譯 (世界短篇小說大系獨逸篇ノ内)		大正一五	一	五三〇
友(小說一)	てい女	明治四五		一	三三九
巴ガラスの街(詩集一)	尾形龜之助	大正一四		一	五四四
巴會作品集	第二回 狩野秀峰編	大正一四		一	二一
巴太鼓	近松門左衞門 (近松門左衞門全集第一〇卷ノ内)		大正一三	一	五〇五
鞆考補證	伴信友稿本 寫本 (伴信友遺書ノ内)			特 一〇	せ
友ヶ島水道潮流圖	水路部製	大正六		一	四八
友たるの術	バアサ・コンデ著 手束靜子譯	大正一四		一	五五〇
友千鳥	友禪史會編	大正一〇		一	一
ともづな	末摘花(加藤芳野子)	大正五		一	三五七

			冊	函	號
友と友の間	菊池寛 (菊池寛全集第三卷ノ内)	大正一一	一	三四四	四〇〇
同	大正一一 (金星堂名作叢書第五)		一	三八九	七三
倶に罪あり	ゲーテ著 吉田豐吉譯 (ゲーテ全集第五卷ノ内)			五三九	一九
共に道を求めて	島地大等	大正一五	一	五〇四	二二〇
鞆浦志	吉田利等編 寫本		一	一〇四	三五四
伴大納言繪詞	日本美術同好會發行	大正八	特 一軸	ん	一七一
伴林光平一代記(天誅組義士一)	武田彌富久	大正六	一	三六四	三五三
伴林光平全集	小野利教編	大正八	二	一五九	一七八
ドモ又の死	有島武郎 (有島武郎全集第七卷ノ内)	大正一三		五二〇	七
同	(現代戲曲全集第二〇卷ノ内	大正一五)		五二〇	二五
鳥谷部陽太郎散文詩集愛を歌ふ	鳥谷部陽太郎	大正一五	一	五五一	一七五
とやま	富山商業會議所編	大正一〇	一	三九三	二六八
戸山御庭記	久世舍善 (國書刊行會本三十輻第二ノ内)	大正六)		三三〇	五一
富山縣園藝要鑑	中川滋治編	大正二	一	三四三	四二一
富山縣上新川郡大廣田村農是調査	同縣農會編	大正五	一	三三六	一三九
富山縣管内圖	富山縣製	大正一三 三・五×二・五	一枚	三三七	三四九
富山縣育會主催教育大會記錄	同會發行	大正三	一	二五九	三一一
富山縣財政概要	同縣編	大正一四	一	一四四	七一六

			冊	函	號
富山縣支會主催一府八縣聯合産業組合大會經過報告	産業組合中央會富山縣支會發行	大正三	一	三四四	四〇〇
富山縣下新川郡統計書	明治四四至大正八、一〇年度 (同郡役所編 大正二至二一)		五	一四四	一五ロ
富山縣寫眞帖	同縣主催一府八縣聯合共進會富山縣協賛會編	大正二	一	四〇八	八六
富山縣主催聯合共進會審査復命書	農商務省商工局編	大正三	一	三四三	四五八
富山縣神社祭神御事歷	佐伯有義編 (六〇九頁)	大正一三	一	五一一	五九
富山縣水産講習所事業報告	大正四、一二、一三年度 (同所編 大正五至一五)		三	一四三イ	四〇二
富山縣水産講習所試驗調査報告	同所編	大正一三	一	一四三イ	四〇三イ
富山縣女教員大會記錄	第四回 同縣女子師範學校附屬堀川小學校編	大正一一	一	二五九	四五〇
富山縣鐵道めぐり	金子如山編	大正一五	一	五五六	六七
富山縣統計書	大正六至一一年度 同縣編	大正八至一三	四	一四四	一五
富山縣之水産	同縣水産組合聯合會編	大正五	一	一四三イ	三七九
同	大正七		一	一四三イ	三七九イ
富山縣方言	同縣教育會編	大正八	一	三三三	三三一
富山縣副業資料	同縣内務部編	大正一一至一三	一	五一八	一五
其一 藁工業に關する調査					
其三 副業組合に關する調査					
其四 郡市町村各種團體に於ける副業施設					
〔富山縣米穀檢査所〕報告	大正二至五年度 (大正三至七)	同所編	二	一四三イ	二二八
富山縣輸出入統計	大正六年 同所編	大正八	一	一四三ロ	一三六
富山縣立農事試驗場一覽	同場編 (九三頁)	大正一二	一	三九三	五九三

	冊	函	號
〔富山縣立農事試驗場〕業務報告 明治四四至大正二、六、七、一一至一三年度 同場編 大正元至一五 九七頁	六	一四二イ	二八九
富山商店製品目錄 富山榮吉編 大正四	一	三九九	三一
富山市立圖書館報告 第六回(大正四年度)、第八回(大正八年度)至第一三回(大正一一年度) 同館編 大正五至一二	七	二七八	四三
富山市立圖書館和漢圖書分類目錄 第一至第六 同館編 大正三至一四	五	三一七	七五
富山の民性 淺野成俊 大正一五	一	五四九	一四八
富山藥學專門學校一覽 大正一一至一五年度 同校編 大正一一至一五	二	二八七	一六
土用入後の稻作に就て 菊地稈 (農蠶叢書第一輯 農業講演集ノ內 大正二)	三	四六	一
同	三	四六	二イ
〔兵庫縣〕豐岡案內 加藤三樹編 大正一一	一	三九四	二六一
豐岡町史 崎玉縣豐岡町編 大正一四	一	五三四	五七
豐鑑 竹中重門著 野村宗朔校註 (校註日本文學大系第一三卷ノ內 大正一五)		五四三	一
		五四三	一イ
同	一	三九四	二六
豐川良平 豐川良平傳記編纂會編 大正一一	一	三九四	二六イ
同	一〇	一六二	一五六
豐國浮世繪集 日本浮世繪協會編 大正一五	一帖	別七	五一五
豐國揮毫奇術競 豐國畫			一〇
豐國錦情集 錦繪互樂會編 大正一〇			二

	冊	函	號
豐國國芳東錦繪 豐國等畫 一三七枚 娘御目見圖 龜戸藤の景 仲秋草狩の興 糀間のすゞみ 屋形船花見の圖 當世娘三十六花撰 江戸名所發句合	別一帖	函	二九
豐國畫稿 豐國畫 寫本	別一〇	二三	一三六
豐國畫帖 豐國畫	一帖	七別	五二
豐國三美人 豐國畫 〔國政合作〕	三枚	七別	六八
豐國十二月 豐國畫 三三枚	別一帖	ゑ	一九八
同 〔馬琴、一九、京傳、三馬等ノ贊アリ〕	別二枚	ゑ	二四六
豐國錦繪	別一帖	ゑ	一九七
豐國錦繪集 惠方詣 今樣見立春の梅 春色花の魁 三月花くらべ 夜ざくら 上野花くらべ 時世櫻かり圖 吉原江戸町二丁目 當世娘評判記 太平嬉女のあそび 發句合あたこ山 發句合あすか山 善光寺境內 龜井戸藤の花ざかり 龜井戸藤の景 泉岳寺開帳參り 泉岳寺開帳詣 兩國夕景 林泉首夏のあそび	別一帖	ゑ	二三三
豐國錦繪帖(初代ー) 豐國畫 節句、役者十二月、忠臣藏十一段續 〔文化頃〕 〔風流役者、地顏五	別一帖	ゑ	一三三
豐國花と雪 豐國畫	別一帖	ゑ	一八一
豐國筆寺子屋書初 豐國畫	別三枚	ゑ	二九九
豐國漫畫圖繪(東錦ー) 附 見立八景、見立白浪六歌撰、見立八笑人等 豐國畫 〔板下ノ見本繪〕	別一〇	ゑ	一〇三
豐重改 二代目歌川豐國論 七戸吉三 大正一五	一〇		一六六 三五八

	冊	函	號
豐田式織機取扱法 森山弘助 大正六	一	三六四	二五四
豐臣記 (讀群書類從第二〇輯ノ上合戰部ノ內 大正一二)		八〇	二三一
同		八〇	三三一イ
豐臣時代史 田中義成 大正一四	一	五三四	九三
豐臣鎭西軍記 五卷 (通俗日本全史第二〇卷補遺ノ內 大正二)		三三四	一九四
豐臣秀吉 綠園生 明治四五至大正三	六	三三九	一二〇
藤吉郎之卷 前、後篇 筑前守之卷 前、後篇 太閤之卷 前、後篇			
同 大正六 縮刷			
豐臣秀吉言行錄 長瀨春風 大正七 (修養史傳第一九編)	三	三三九	一二〇イ
豐臣秀吉伏見桃山古圖并伏見町市街圖 日下伊兵衛發行 一二×一七	一枚	三五五	一七
豐橋市一覽 野口里吉編 大正二	一枚	一九	六五四
豐橋市及其附近 大口喜六編 大正五	一	三三九	三四六
豐橋市街圖 同市教育會編 大正五 九・〇×一・二	一	七〇	三三五
豐橋市史談 大口喜六編 大正五	一枚	八九	二五七
豐橋商工案內 大正一〇、一一年度 大正一〇、一一 原田仙二郎編	一	三五九	四四
豐廣、豐國合作錦繪 〔堀內妙法寺へ參詣群集ノ圖〕	二	三七四	七三
登米郡史 藤原相之助等編 大正一二	別一帖	ゑ	一四七
豐世見久佐(入ー) 稀書複製會編 大正一一	二	五五四	一〇二
豐浦郡水產史料 同郡漁礁圖付 一一一六頁 楠美一陽 大正四	一〇	一〇三	三九六
	一	三四八	二四〇
豐浦郡地方改良講習會講演筆記 山崎延吉 大正七	一	三七二	一三一
虎 久米正雄 (世界短篇小說大系日本篇下ノ內 大正一五)		五二〇	四五
銅鑼 菅忠雄 (日本小說集第一集ノ內 大正一四)		五三九	五六
トライチユケ(戰爭の讃美者ー) マキシミリアン・ミツゲ著 石黑魯平譯 大正八	一	三八四	一三三
徒勞 正宗白鳥 (白鳥傑作集第二卷ノ內 大正一二)		五〇〇	四八
トラウベル詩集 福田正夫譯 大正九	一	三八八	三一五
虎から豹へ 長谷川如是閑 (長谷川如是閑創作集第二編ノ內 大正一二)		五一五	四五
虎倉物語(類纂ー) 又兵衛 (吉備群書集成第三輯ノ內 大正一一)		三九九	一四
虎藏忠義 直木三十三 (大衆文藝新作仇討全集第二卷ノ內 大正一五)		五四八	一六
トラスト模範定款 山下義雄譯 (勞農露國研究叢書第二編ノ內 大正一四)		五〇八	三四
虎使ひ志願 長谷川如是閑 (長谷川如是閑創作集第一編ノ內 大正一二)		五一五	四五
同 (長谷川如是閑創作集第三編ノ內 大正一四)		五二七	一八
囚はれたる經濟學 大西猪之介 大正九	一	三八二	七六
囚はれたる文藝 島村抱月 (抱月全集第一卷ノ內 大正八)		三七九	二
トラピスト歌集 三木羅風 大正一五	一	五五一	一六五
トラホーム講習會講義 石原忍 大正一一	一	五五	一二
「トラホーム」檢診成績 大正一三年 大正一四 山口縣衞生課編	一	一四六ハ	二〇三
トラホーム圖說 石原忍 訂再版 大正一一	一	五五	一〇三イ
虎眼撲滅策 市川榮枝 大正四	一	五五	九八

		冊	函	號
トラホーム豫防費一覽表	大正元至五年度生局編 大正八 内務省衞	一	一四六	一〇五
トランプ遊戯法（圖解—說明—）	關西競技倶樂部編 大正九	一	三八	三六一
トランプ術 一名 西洋かるた使用法	片岡兵藏 大正四	一	三七	四六八
トランプの手引	伊東昌三郎 大正八	一	三八六	一六二
鳥（アリストファネス著 村松正俊譯（古典劇大系第二卷希臘篇ノ内）	大正一四）	五三九		一
ドリアン・グレイの畫像	ワイルド著 矢口達譯 大正一一	一	五〇六	二六
ドリアン・グレエの畫像 附 獄中より（世界名作大觀英國篇第七卷）	ワイルド著 平田禿木譯 大正一四	一	五四三	二
同		一	五四三	二イ
同 再版 大正一五		一	五四三	七
鳥板記（續群書類從第二四輯ノ下武家部ノ内）	大正一四）		八〇	三二
同			八〇	三二イ
鳥居派草稿 寫本		特 一	四〇三	二一三
鳥居元忠	和田兼三郎 大正一一	一	三九八	一〇六
同		一	三九八	一〇六イ
鳥追の圖（摺物）	國貞畫	枚 二	別 七	二三五
鳥籠 南部修太郎 大正一四		一	五三八	二四五
取方見方相撲四十八手極意	葛生勇 大正六	一	三六四	一六一
鳥羽無線電信電話	鳥潟右一 大正五	一	三五一	二一七
取舵（泉鏡花（鏡花集第四卷ノ内）	大正二）	冊	函	號
とりかへばや物語 池邊義象等校註（校註國文叢書第一二冊ノ内）	大正三）	三四五	元	三一
同 沼波守校註（校註日本文學大系第二卷ノ内）	大正一四）	五四三		一
同		五四三		一イ
俘（レッシング著 森鷗外譯（鷗外全集第一一卷ノ内）	大正一二）	特 一	八三一	二
同		特	五一〇	一
同		特	五一〇	一イ
		特	五一〇	一ロ
鳥島移住始末 齋藤用之助 大正九		一	三九三	六八
取締役ノ選任及就任ノ性質ニ就テ	水口吉藏（横田博士還曆教授二十五年祝賀記念論文集ノ内）	大正一〇）	五一二	四三
砦草 原昌克（日本衞生文庫第一輯ノ内）	大正六）		六一	二〇四
鳥之迹 戸田茂睡（國書刊行會本戸田茂睡全集ノ内）	六卷 大正四）		三二〇	四九ぬ
鳥の一年 西村醉夢 大正元		一	三三三	三九八
鳥の巢をたづねて 實業之日本社編（一寸法師叢書第六編）	大正一一	一	五〇〇	五三
取引契約要鑑（法典—活用—） 佐々木英光 大正二	五九〇頁	一	八八	三六〇
取引相場の知識 河瀨蘇北 大正一四		一	五四一	二四三
取引所一覽 大正二年一〇月一五日、同四年九月一日、同八、九、一一年各元日、同一三、一四年各二月末日調	商工省商務局編 大正二至一五	七	三四四	三三九
取引所要論 長滿欽司 大正一三		一	五三一	二二四

取引所關係法規集 大正八年四月一日現在	大正八	一	一四七	一七五
取引所研究 小山正之助 大正七		一	三七一	一二六
取引所研究 取引所研究社發行 第一卷第一號（大正一四年一月）ヨリ		雜	四五	二〇三
取引所研究資料 池田菊之助編 再版 明治四五		一	三三五	三四〇イ
取引所制度革新論 田中正之 大正一二 八九頁		一	三九三	五二九
取引所投機取引論 上卷 佐野善作 大正二		一	三三六	一五八
取引所と金融市場との關係 河合良成 三一頁		一	一四五	五三
取引所と投機に就て 河津暹速記錄ノ内（財政經濟に關する講演	大正一二）		五二八	六九
取引所ニ關スル外國法規 農商務省商務局編 大正一〇		一	一四七	二〇一
取引所の話 小山正之助（時局講演集上卷ノ内）	大正八）		三七〇	一〇五
取引所の理論的研究 附 短期取引の技術的研究 辻川祐之、向井鹿松	大正一五	一	五六三	四九
取引所法規及判例（取引所仲買人委託者—） 自修社編	明治四五	一	一四七	一〇九
取引所法規判例集 巖松堂編 大正一五		一	一四七	三六四
取引所法關係法規判例集 甘糟勇雄編 大正一四		三	一四七	三三一
第五輯 證據金不納ト仲買人ノ任意處分ニ關スル商慣習				
第六輯 取引所ニ於ケル「パイカイ」ノ効力				
第八輯 取引所法第三條ト第二十七條				
取引所法註解 山田敬太郎 大正一二		一	五一二	一七〇
取引所問題 戸田海市（戸田海市）著作集第四卷ノ内	大正一四）	五三〇		一〇四
取引所用語字彙 大藏省主稅局編 大正六		一	三七三	八九
取引所用語集 大阪稅務監督局編 大正三		一	三七	三八一
取引所論 上、下卷 裏田藤吉 明治四五、大正八		二	三七一	三七
同 上卷 增補一〇版 大正一二		一	三七一	三七イ
取引所論叢 大日本實業協會編 明治四五		一	三四二	一〇三
取引の智識 室岡四郎 大正一一		一	三九五	二五〇
取引法令と通語 島本得一編 大正九		一	三八六	二四七
取引保護より見たる民法 石田文次郎（神戸高等商業學校）商業研究所講演集第五輯）	大正一一	一	一四五	四一
鳥笛 泉鏡花（鏡花全集第一四卷ノ内）	大正一五）	一	五二〇	四四
同		一	五二〇	四四イ
鳥平漫畫お目出度い群 吉岡鳥平 大正一〇		一	五〇一	一一〇
鳥邊山心中 岡本綺堂（綺堂戲曲集第一卷ノ内）	大正一三）	一	五二七	一六
同 岡本綺堂（現代戲曲全集第二卷ノ内）	大正一四）	一	五二〇	二五
鳥部山物語 山崎麓校註（校註日本文學大系第一九卷ノ内）	大正一四）	一	五四三	一
同		一	五四三	一イ
雛雞石尊驢 鶴屋南北（大南北全集第一三卷ノ内）	大正一四）	一	五三九	八
同		一	五三九	八イ
捕物御用聞文吉 仲側紅果（新講談パンフレット第一輯ノ内）	大正四）	一	五四四	六三
捕物時代相 白井喬二 大正一三		一	五二九	一四一

		冊	函	號
捕物文庫 第二 齋藤憲太郎 大正一三		一	五九	七
度量考 伴信友校（伴信友遺書ノ内）	度量衡協會發行 第八一號（大正七年八月）ヨリ	雜誌	せ	六六
度量衡	比留間吉勝 大正四	一	三三九	五五八
度量衡（計量—）（大意—）	日本度量衡協會靜岡縣支部編 大正六	一	三七三	三三
度量衡營業者要覽	上總亨 大正五	一	三五一	一四七
度量衡要義	靜岡縣編 大正四	一	三三七	七〇〇
度量衡及計量單位比較表	農商務省編 大正一二	一	三八五	二四六
度量衡及工業品規格統一調査會議事錄	同會編 大正一〇	一	三九七	一八〇
度量衡考	荻生徂來、同北溪（日本經濟叢書第三卷ノ内 大正三）	三四六		一八
同	（改訂日本經濟叢書第三卷ノ内 大正一二）	四四	三七三	
度量衡講話	林茂淳 大正一四	一	五四一	三三
度量衡簡易講習錄	水谷重俊 大正七	一	三一	五八八
度量衡器營業者記號一覽	（大正一〇年四月末日現在） 中央度量衡檢定所發行 大正一〇	一	三九三	二六〇
度量衡器計量器販賣者必携	附錄 參照法規 青木義知編 大正一三	一	五二四	七四
度量衡教本	小山田喜惣 大正四	一	三三七	六九九
度量衡原器及副原器の說明	農商務省中央度量衡檢定所編 大正八	一	三七三	三六六
度量衡事務功程	大正六年度 大正七 福岡縣度量衡檢定所編	一	一四、二イ	四四三
度量衡說統	最上德内 六卷（日本經濟叢書卷三〇ノ内 大正五）	三四六		一八

		冊	函	號
度量衡統一	大阪府度量衡同業組合等編 大正一三 九六頁	一	五二四	六〇
度量衡統計要覽	第七至一一、一三至二〇次 工務局編 大正元至一五 農商務省	七	三三	三八五
度量衡取締參考要書	長崎縣編 大正四	一	三三九	五七五
度量衡の改正と之に伴ふ規格統一	本野亨（懷德堂百科通俗講演集第一輯ノ内 大正一四）	一四、五	一四〇	
同		一四、五	一四〇イ	
度量衡法	寺島三郎編 大正五	一	三三九	七三八
度量衡法規（袖珍—）	前編 齋藤祐記編 大正一〇 訂再版	一	三九六	一四四
度量衡法規集	齋藤祐記編 大正七	一	一四、七	一六二
同 大正一三		一	一四、七	三〇〇
度量衡法規集	寺島三郎編 大正五	一	一四、七	一四一
度量衡法規集	松村虎三編 大正九	一	一四、七	一八九
度量衡法規集	松村祿郎編 大正一〇	一	三九六	六五
度量衡法通解	長沼政五郎 訂三版 大正五	一	九一	二三八イ
度量衡法令輯覽	鈴木重雄編 大正五	一	三六四	七八
度量衡比較表	農商務省中央度量衡檢定所編 大正四	一	三三七	四〇七イ
同 大正八		一	三七二	三三三
杜陵の三年	石井佐助 大正二	一	三五〇	一七
杜陵方言考	小木村司 寫本	一	二〇五	一九二

		冊	函	號
努力	大倉喜八郎著 井上泰岳編 大正五	一	三六〇	三六二
努力	幸田露伴 大正一二（近代名著文庫第一）	一	三六九	八二
努力（立志—小說—）	堀内新泉 大正二	一	三三九	一六三
努力一貫（四十餘名士之心血—）	小崎都也野編 大正三	一	三六〇	一〇
努力生活	田中敎道（修養講話ノ内 大正四）	一	三四九	三五
努力南米で職に就くまで	梅田又次郎 大正一二	一	五三三	二三
努力成功の實例	若月保治 再版 大正九（修養叢書第三編）	一	三六九	二九
努力と修養	本莊了一 大正二	一	三四二	四一
努力論	幸田露伴 一七版 大正元	一	三四二	三六
同		一	三四二	二六イ
同 二六版 大正元		一	三四二	二六ロ
同		一	三四二	二六ハ
トルクマダ	ユーゴー著 廣瀨哲士譯（ユーゴー全集第七卷ノ内 大正九）	一	三五五	九三イ
トルクワトー・タッソー	ゲーテ著 關口存男譯（ゲーテ全集第四卷ノ内 大正一四）	一	五三九	一九
土耳古赤拔染試驗成績	加藤淺四 大正七（東京工業試驗所報告第一三回第八號）	一	一四二イ	二一七ロ
土耳古及土耳古人	長瀨鳳輔 大正四（時事叢書第二四編）	一	三五五	一
土耳古及バルカン地方の現狀	笠間果雄 大正一五（講演會速記錄ノ内）	一	五二四	二五七
同		一	五二四	二五七イ
土耳古肩掛	スリヨーズキン著 米川正夫、三島隆譯（世界短篇小說大系露西亞篇下ノ内 大正一四）	五一〇		四五

		冊	函	號
土耳古畫觀	山田寅次郎 明治四四	一	三三三	三イ
土耳古童話集	山崎光子譯（世界童話大系第一一卷土耳古、波斯篇ノ内 大正一四）	五二〇		一〇
同	（世界童話大系第一一卷土耳古、波斯篇ノ内 大正一五）	五二〇		一〇イ
土耳古の經濟事情	フールーシ・ブユアド・ベー（財團法人啓明會講演集第一六回ノ内 大正一四）	一四、五		三〇
土耳其の新形勢に對する史的觀察	長瀨鳳輔 大正一二 二八頁	一	五一五	四二
土耳古の盛衰	小林鶯里 大正一五（興亡五千年史第八卷）	一	五三三	二一七
土耳其廢頽史	長瀨鳳輔 大正九（通俗國際文庫第八卷）	一	三七七	一七
トルストイ	中澤臨川（重雄） 大正二	一	三四八	二七
トルストイ	中西伊之助（人生論十二講ノ内 大正一四）	一	五三六	二八
トルストイ	中西伊之助（聖哲の懺悔ノ内 大正一四）	五三六		六四
トルストイ遺稿愛の書簡	上卷 ソフイヤ夫人編 馬場哲哉譯 大正一五	一	五一七	五四三
トルストイ遺作隱道	土岐哀果譯 大正二	一	三三八	一六七
トルストイ一日一想	加藤一夫編 再版 大正六	一	三七七	四三
トルストイを憶ふ	小林澄兒（三田文選ノ内 大正八）	三三九		二九一
同		三三九		二九一イ
トルストイ敎に反對して	トルストイ著 宮原晃一郎譯（トルストイ全集第八卷ノ内 大正八）	三九〇		三九
トルストイ戲曲全集	米川正夫譯 大正一三	一	五三九	二三二
トルストイ傑作集	トルストイ著 村上靜人譯 大正六（泰西傑作集第五）	一	三五五	八七
アンナ・カレニナ 闇に輝く光				

		冊	函	號
コザック復活				
トルストイ宗教小説集	小西増太郎譯　大正二	一	三三八	二六五
トルストイ十二講	昇曙夢　再版　大正七	一	三七七	四三
トルストイ書簡集	石田三治　大正七	一	三一	六一九
トルストイ人道主義	加藤一夫　大正四（近代思潮叢書第八編）	一	七一	四八二
トルストイ小傳	片上伸（トルストイ全集第一三卷ノ内　大正八）		三九〇	三九
トルストイ小話文庫	新潮社發行　大正六	二	三六四	一〇三
第一編	蠟燭と二老人（昇曙夢譯）			
第四編	火を等閑にせば（衞藤利夫譯）			
トルストイ全集	トルストイ著　植村宗一編　三版　大正八、九	一三	三九〇	三九
第一卷	幼年の頃（柳田泉譯）			
	少年の頃（同）			
	青年時代（宮島新三郎譯）			
	地主の朝（宇佐美文藏譯）			
	侵入（原田實譯）			
	カザック（加藤一夫譯）			
第二卷	セワストーポリ（高野槌藏譯）			
	森林伐採（柳田泉譯）			
	莫科の知人と陣中の邂逅（宮原晃一郎譯）			
	ゲーム驃取人の手記（福永挽歌譯）			
	二人の驃騎兵（同）			
	アルセルン（同）			
	アリベルト（同）			
	三つの死（加藤一夫譯）			
	家庭の幸福（福永挽歌譯）			
	ポリクーシュカ（同）			
	子供のための物語（木村毅譯）			
第三卷	國民傳說（飯田敏雄譯）			
	民話（同）			
	繪本のために書かれし話（同）			
	イワソの馬鹿（村山勇三譯）			
	最初の釀造者（同）			
	閑ある人々の話（同）			
	光ある中に光の中を歩め（同）			
	三つの喩話（宮原晃一郎譯）			
第四卷	主人と雇人（柳田泉譯）			
	十二月黨員（同）			
	教育上の諸論文（馬場哲哉譯）			
	イワンイリイッチの死（宮島新三郎譯）			
	クロイツエルソナタ（福永挽歌譯）			
	神と人（加藤一夫譯）（宇佐美文藏譯）			
	コルネイ・ワシリエフ			
	祈禱（同）			
	漿果（同）			
	何の爲めに？（宇野喜代之介譯）			
	闇の力（同）			
	文明の果實（宮原晃一郎譯）			
	ラメネ、ビオートル、ヘリチーッキー、パスカル（同）			
	地獄の廢滅とその復興（同）			
	石（同）			
	虐げられた猶太人のために書かれし話（櫻田廣介譯）			
	最初の思出（高野孤龍譯）			
	幼年時代の思ひ出（同）			
	村の三日間（加藤一夫譯）			
	村の唱歌隊（同）			
	旅人との對話（同）			
	吹雪（原田實譯）			
	ホルストメル（濱田廣介譯）			
第五卷	私の懺悔（細田源吉譯）			
	我が宗教（加藤一夫譯）			
	宗教とは何ぞや（同）			
	基督教（同）			
	我等何を爲すべき乎（同）			
	宗教と道德（宇佐美文藏譯）			
	神に就いての考察（同）			
第六卷	人生論（宮島新三郎譯）			
	饑饉に關する論文（木村毅譯）			
	兒童のために說かれたる基督の教（西川松子譯）			
	十二使徒に依りて傳へられたる主の教（同）			
	福音書は如何に讀むべき乎併に其の本質如何（同）			
	簡易聖書（高谷道男譯）			
	シエクスピヤ及び戯曲について（木村毅譯）			
	藝術とは何ぞや（同）			
第七卷	教義神學の批評（高野槌藏譯）			
	復活（同）			
	世の終り（宮原晃一郎譯）			
	我等は何のために生くるや（同）			
第八卷	第一階段（石田三治譯）			
	神へか惡魔へか（宮原晃一郎譯）			
	惡魔（高野槌藏譯）			
	生ける屍（宇野喜代之介譯）			
	子供の智慧（加藤一夫譯）			
	トルストイ小傳（片上伸）			
	トルストイの思想の移入及ビ傳播（内田魯庵）			
	日記（宇佐美文藏譯）			
	書翰（宮原晃一郎、馬場哲哉譯）			
	神の國は爾等の衷にあり（加藤一夫、宇佐美文藏譯）			
第九、一〇卷	何故人々は自らを麻醉させるか（同）			
	一月二十四日の文教祭（同）			
	止まりて考へよ（同）			
	愛の要求（同）			
	惡を以て惡に報ひず（同）			
	意志の自由に就て（同）			
	現在の社會組織に就て（同）			
	汝殺すなかれ（同）			
	恥づべし（同）			
	自己完成に關する意義（同）			
	精神的本源の意義について（同）			
	人生の意義について（同）			
	自己を信ぜよ（同）			
	自殺に就て（同）			
	トルストイ教に反對して（同）			
	ゴーゴリに就て（同）			
	唯一の教訓（同）			
	政治家へ（同）			
	露國の社會運動について（同）			
	露國民に向つて（同）			
	大罪（同）			
	勞働者諸君に（同）			
	愛國心（同）			
	何をすべきか（同）			
	アナーキズムについて（同）			
	眞正の自由（同）			
	ハリソンと暴力に對する無抵抗（同）			
	避け難き革命（同）			
	最初の釀造者（同）			
	新聞紙一枚（同）			
	眞正の手段（同）			
	悔改めよ（同）			
	海牙平和會議の草案（同）			
	二つの戰（同）			
	カルタゴ落さざるべからず（同）			
	現代の奴隷制度（宇佐美文藏譯）			
	默刑とする能はず（同）			
	死刑と基督教（同）			
	互に愛せよ（同）			
	露西亞革命の意義（同）			
	序文六編（木村毅譯）			
第九、一〇卷	戰爭と平和（米川正夫譯）			
第一一卷	アンナ・カレーニナ（中村白葉譯）			
第一二卷	ハヂ、ムラート（福永挽歌譯）			
	贋せ利札（宮原晃一郎譯）			
	闇に輝く光（宇野喜代之介譯）			
	遺稿小篇（井上芳子譯）			
	神父セルギイ（細田源吉譯）			
第一三卷	土屋昌介　大正一四（題簽ニハ「トルストイ傑作全集」トアリ）	一	五四一	二三二
トルストイ全傳	バウル・ビルコフ著　水島耕一郎譯　明治四五	一	三三二	三一一
トルストイ叢書	新潮社發行　大正五至七	八	三五	二七六
第一	我が宗教（生田長江譯）			
第二	イワン、イリイッチの死（福士幸次郎譯）			
	主人と下男（同）			
	高架索の捕虜（同）			
第五	闇の力（中村吉藏譯）			
	生ける屍（佐藤緑葉譯）			
第六	コサック（廣津和郎譯）			
第八	クロイツエル・ソナタ（同）			
第九	結婚の幸福（谷崎精二譯）			
第一一	贋造手形（山内封介譯）			
第一二	セヴアストオポリ（島田青峰譯）			
トルストイ短篇選集	加藤一夫編　大正一〇	一	五〇一	一三三
トルストイ全集	トルストイ全集刊行會發行　大正一三、一四	一三	三九〇	三九
第一卷	初期の作品（柳田泉等譯）			
第二卷	短篇及び中篇小說（原田實等譯）			
第三卷	短篇及び中篇小說　續（福永挽歌等譯）			
第四卷	戰爭と平和　上卷（奉秋社譯）			
第五卷	同　下卷及後話（同）			
第九卷	戲曲、對話、傳說、民話（宇野喜代之介等譯）			
第一〇卷	人生問題及藝術論集（加藤一夫等譯）			
第一一卷	宗教論集（同）			
第一二卷	聖書研究及教育論集（細田源吉等譯）			
第一三卷	社會政治論集　附　童話（柳田泉等譯）			

	冊	函	號
トルストイ著作選集　新詩壇社發行　大正一四	二	五二	四三
第一輯　わが無抵抗主義（木村毅譯）			
第二輯　わが懺悔（百島操譯）			
第三輯　兩性論（宮島新三郎譯）			
トルストイ通俗物語集　公立社發行　大正五	一	三五七	一八〇
第一　神の審判（西村貞譯）			
トルストイ傳　バウル・ビルコフ著　相馬御風譯　大正六	一	三六四	一二三
トルストイ傳　その他　片上伸　大正一二	一	五一四	一八六
トルストイ童話集　トルストイ著　濱田廣介譯　大正一四	一	二五九五	七九
トルストイ童話集　トルストイ著　三浦關造譯　大正一一（新譯世界教育名著叢書第四卷）	一	三九六	二九三
トルストイとガンディーの宗教思想　帆足理一郎　大正一一	一	五〇四	一三五
トルストイと其の夫人　片上伸（婦人問題講演集第三輯ノ内　大正一〇）		五〇〇	二
トルストイとドストエーフスキイ　昇曙夢譯　大正一三（メレジュコーフスキイ著（世界名著叢書第七編））	一	五〇〇	五三
トルストイと二箇年　ニコライ・ゲッセフ著　齋木仙醉譯　大正四	一	七一	五〇七
トルストイ日記　石川喜三郎譯　大正七	一	三七七	九〇
トルストイの藝術觀　松浦一　明治四五	一	三三三	二四八
トルストイの藝術と思想　島村抱月（抱月全集第二卷ノ内　大正九）		三七九	二
トルストイの教訓劇と惡魔　島村抱月（抱月全集第二卷ノ内　大正九）		三七九	二
トルストイの思想の移入及び傳播　内田魯庵（トルストイ全集第一三卷ノ内　大正八）		三九〇	三九

	冊	函	號
トルストイの生涯　ロマン・ローラン著　宮島新三郎譯　大正一三	一	五一六	二六九
同　大正一〇（社翁紀念文庫第一二）	一	三五五	一〇〇
トルストイの戰爭と平和　相馬御風（傑作選集靈か肉か二　大正一三）		五三三	一八八
トルストイの追憶　マキシム・ゴーリキイ著　神近市子譯　大正一五　九八頁	一	五四九	二〇五
トルストイの手紙　トルストイ著　外村完二譯　大正一五（村の本第七篇）	一	五五〇	五三
トルストイの日記　青年時代　トルストイ著　内山賢次譯　大正九	一	三九一	一九八
トルストイ美辭名句集　賣文社編　大正六（内外文豪美辭名句叢書第七集）	一	三六四	一二六
トルストイ夫人　ドストイエフスキイ夫人手記　良人の追憶　井田孝平譯　大正一五	一	五四九	二〇四
トルストイ文庫　トルストイ著　新潮社發行　大正一〇、一二	二	三八九	六四
第一　人は何によつて生るか（昇曙夢譯）			
第二　イワンの馬鹿の話（福士幸次郎譯）			
トルストイ民話集　トルストイ著　塚本弘譯　大正五	一	三五七	一五四
トルストイ物語　トルストイ著　昇曙夢譯　大正八（世界少年文學名作集第二卷）	一	三七五	三九
トルストイ論文集　トルストイ著　早稲田大學出版部發行　大正五	一	三五五	七七
第二　宗教論（相馬御風譯）			
トルストイ論補遺　岩野泡鳴（泡鳴全集第一八卷ノ内　大正一一）		五〇〇	一
弗でない男　澤田謙（日本エッセイ叢書第一）　大正一一五	一	五四五	四四
とるてり及やつふへ氏魚油檢出法に就て　辻本滿丸（東京工業試驗所報告第一〇回ノ内　大正五）		一四、三イ	二一七
ドルトン案の教育　阿部重孝　大正一二	一	二五三	六六四

	冊	函	號
ドルトン・プランに對する一考察　小林澄兄（最近思潮教育夏季講習録大正一三年度ノ内　大正一三）		二五八	三九
ドルトン・プランの批判　吉田熊次　大正一四	一	二五三	三〇八
塗料製造法講義　鴨田修治編　大正六	一	三六一	一一〇
とれーんぐ、くろす仕上試驗　高松德治郎、野口寅之助（東京工業試驗所報告第一〇回ノ内　大正五）		一四、二イ	二一七
ドレーンとヴラマンク　佐久間政一　大正一〇（世界現代作家選第三）	一	五〇五	一一
ドレッスメーキング　上卷　高木鐸子編　大正一一	一	三八〇	二〇一
ドレッスメーキング割出篇　高木鐸子　大正一五	一	五六三	二三
トレルチの歐洲文化觀並之に對する所見　前田幸太郎（山口高等商業學校開校第二十周年記念講演及論文集ノ内　大正一五）		五一八	三二
トロイラスとクレシダ　シエクスピア著　木村莊太譯（世界婦人文獻第六卷文藝に現れたる秦西の代表的女性（二）ノ内　大正一五）		五四五	七
トロー言行錄　西川光次郎編　明治四五（偉人研究第六七編）	一	九五	四五
ドロシイ　ゴーア著　村山勇三譯（世界短篇小說大系英吉利歷代名作集上ノ内　大正一五）		五二〇	四五
泥人形　正宗白鳥（白鳥傑作集第二卷ノ内　大正一二）		五〇〇	四八
泥沼（戲曲）　附　小說歌舞伎模樣　上野虎雄　大正一三	一	五二三	二五二
黄蜀葵根ノ粘液ニ就テ　小澤武（東京工業試驗所報告第一七回第五號ノ内　大正一一）		一四、二イ	二一七
同		一四、二イ	二一七ロ

	冊	函	號
どろんの道　長谷川伸　大正一四		一〇五三	一四二
ドワイト、エル、ムーデー傳　ピ・ムーデー、フイット著　廣田鐵五郎譯　大正五	一	三三五	四〇二
十和田案内略記　武田林風編　大正二	一	三三九	二五〇
十和田遊覽案内　杉本幸之吉編　大正一〇　一・六×二・四	一枚	三三九	一〇五〇
十和田歌詩句集　岩舘精素　大正四	一	七一	五〇四
十和田湖　武田千代三郎　大正一一	一	三九八	九一
十和田湖、田澤湖、男鹿半島案内　鐵道省運輸局編　大正一三	一	五三三	四七
十和田勝景畫譜　鳥谷又藏　大正一一	一〇	一四六	二八七
十和田の錦（最新案内）　駒ヶ峯定正（愚童）　大正二	一	三四四	二七二
ドン・キホーテ　セルヴンテス著　島村抱月、片上伸譯　再版　大正四	二	三三九	二五六
ドン、キホーテ（全譯）　セルヴンテス著　佐々木邦譯　大正三	一	三三九	二〇四
ドンキホーテ冒險お伽噺　セルヴンテス著　和田垣謙三、星野久成譯　大正五	一	三五七	一九九
ドンキホーテ物語　服部嘉香　大正四（世界名著物語第一三篇）	一	三四〇	四三
どんぐり山　沖野岩三郎　大正一四	一	五四四	二一八
燉煌遺書（影印本）　第一集　ポール・ペリオ、羽田亨編　大正一五	一〇	四一八	一〇八
同（活字本）　第一集　大正一五	一〇	一八八	五八八
燉煌出土古寫佛典に就いて　矢吹慶輝　大正七（財團法人啓明會講演集第一四回）	一	一四五	三〇
燉煌出土古寫佛典略目（英國博物館藏）　矢吹慶輝編　大正一四　一〇頁	一	五二四	二〇四

		冊帖	函號
敦煌所出化度寺塔銘殘本	西東書房發行 大正一五	一	二を一三
敦煌石室の遺書	石濱純太郎 大正一四 九六頁	一	五四九 六
燉煌地方出古寫佛典ロートグラフ解說目錄	矢吹慶輝編 大正六	一	三三五 五二九
燉煌錄 (大日本佛教全書第一一六冊ノ內	大正一一)		三五三 一〇
鈍語 澁川玄耳(柳次郎)	大正三	一	三五〇 二八九
呑象高島嘉右衞門翁傳	植村澄三郎編 大正三	一	三四八 一九三
頓成菩提要 圓珍撰 (大日本佛教全書第二四冊ノ內	大正二)		三五三 一〇
ドン、ジュアン	モリエエル著 井上勇譯 (古典劇大系第七卷佛蘭西篇一ノ內 大正一三)		五三九 一
同 他二 大正一三		一	五三二 一三三
どん底	ゴーリキー著 大泉黑石譯 大正一〇	一	三九六 二九
同	ゴーリキイ著 米川正夫譯 (近代劇大系第一五卷露西亞篇三ノ內 大正一三)		五一五 二六
同	(近代劇大系第一五卷露西亞篇三ノ內 大正一四)		五一五 二六イ
どん底社會	小川二郎 大正八	一	三八七 一八
どん底社會の研究	宇野宙人 大正八 (平民叢書第九編)	一	三八九 一三
どん底生活	村島歸之 大正七	一	三七六 六五
どん底の英雄	炭坑夫ロバアト、シンクレエアの物語 ジエイムス・ウエルシュ著 麻生久等譯 大正一三	一	五二九 一六六
頓智の一休和尙	中村德助 大正一三	一	五一六 三二六
頓智の蜀山人	狸公山人 大正一三	一	五一六 三二七
頓智李太郎(漫畫双紙)	在田稠 大正八	一	三八六 六四
曇天	永井荷風 (荷風全集第三卷ノ內 大正八)	一	三一 八三四
どんどんノ圖	(團扇繪) 廣重畫	一枚	別七 五六
どんな俳句を作つたらいゝか	高濱虛子 大正八	一	三七七 一六〇
豚肉加工	飯田吉英 大正七 (通俗畜產叢書第一卷)	一	三七五 一三
豚肉加工法	飯田吉英 大正元	一	三四二 一九七
同 改訂	大正一四	一	三四二 一九七イ
とんねる	田邊朔郎 大正一一	一	五〇九 二〇
トンネル狂	岩野泡鳴 (泡鳴全集第三卷ノ內 大正一〇)		五〇〇 一
隧道掘鑿中湧水防止法としての膠結法及凍結法	附錄 各國隧道工事中の湧水多量なる實例 鐵道省建設局工事課編 大正一五	一	五二四 五二五
隧道堀鑿ノ研究	大同電力株式會社土木課設計係編 大正一一 三七頁	一	三六八 一七七
隧道工事編	西畑常 大正一四	一	五四〇 二九
曇芳守忠禪師語錄	繼祖等編 二卷 (大日本續藏經第六一二冊ノ內 明治四五)		三三五 二
頓別村發達史	吉野政吉編 大正六	一	三三九 八八六
曇無德律部雜羯磨	曹魏、康僧鎧譯 (大正新脩大藏經第二二卷律部ノ內 大正一五)		四四 三七四
呑龍上人御實傳	藤澤紫紅 大正三	一	三四四 三六五

帝國圖書館和漢圖書書名目錄 第四編 シ—ト 終

昭和十二年三月二十八日印刷
昭和十二年三月三十一日發行

帝國圖書館

印刷者 內閣印刷局

509
33